

湖南省地域自然エネルギー 地域活性化戦略プラン

【概要版】



湖南省では、「湖南省地域自然エネルギー基本条例」に掲げる基本理念に沿った戦略として「湖南省地域自然エネルギー地域活性化プラン」を平成 27 年 2 月に策定し、多様な主体との連携により、様々な取り組みを進めてきました。

プラン策定以降、「パリ協定」、「SDGs」等の世界的な動向から、それらを踏まえた「地球温暖化対策計画」、「第 5 次エネルギー基本計画」、「第五次環境基本計画」の策定等、日本においてもエネルギーを取り巻く状況はめまぐるしく変化しており、そのような新しい社会の動向に対応した、地域の持続的発展に資する戦略づくりが求められます。

そこで、このたびプランの計画期間の満了と合わせてプランを改定し、将来のめざすべき姿や方向性、プランの実現に向けて市民や事業者、行政が一丸となって取り組む道筋を示すことで、地域資源を活かした自然エネルギーの活用により、地域が主体となった持続的発展可能な地域社会をめざします。

自然エネルギーは地域のもの

地域にある自然エネルギーを活用した 地域循環共生圏の実現

プラン策定の意義

- ・ **地域の自然エネルギー活用によるエネルギー費用流出の抑制**
(地域内経済循環の実現/地域経済活性化)
- ・ **地球温暖化対策** (CO₂ 排出抑制/災害時におけるレジリエンス向上)
- ・ **地域新電力を核とした湖南市版「シュタットベルケ」構想の推進**
- ・ **地域の自然エネルギー活用の在り方における国への提言** (地域資源利活用税/近接託送制度)

プランの定量的な目標

経済	エネルギー代金流出削減額	現在、エネルギー代金として市外に 212 億円が流出していますが、プランの推進により 流出額の 10%の経済的効果 の創出を目指します。
環境	地域新電力から供給される電力の CO ₂ 排出係数	地域のエネルギー供給の核となる地域新電力から供給される 電力の CO₂ 排出係数を、2050 年に“0” とすることを目標とし、地域の自然エネルギー活用により段階的に低減を図っていきます。
	市域における CO ₂ 排出量	市域における 2030 年の CO₂ 排出量を 516 千トン CO₂ (32.5%削減) とすることを目標とします。
社会	地域自然エネルギーに関する取り組みの関係人口	地域自然エネルギーに関する取り組みの 関係人口を 10,000 人とする ことを目標とします。

プランの対象期間

各取組については短期集中型のプランとして…

令和 2 年度から令和 7 年度までの 5 年間

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）として…

基準年度：平成 25 年度 / 目標年度：令和 12 年度

プランの対象範囲

- 対象とする自然エネルギー：太陽光発電/太陽熱利用/太陽熱発電/風力発電/小水力発電/バイオマス燃料製造・熱利用・発電【天然ガスコージェネレーション/燃料電池/蓄電池/クリーンエネルギー自動車】
- 対象とする温室効果ガス：エネルギー起源とする CO₂/一般廃棄物の燃焼に伴う CO₂

基本理念・基本方針

- ・市、事業者及び市民は、相互に協力して、自然エネルギーの積極的な活用に努めるものとする。
- ・地域に存在する自然エネルギーは、地域固有の資源であり、経済性に配慮しつつその活用を図るものとする。
- ・地域に存在する自然エネルギーは、地域に根ざした主体が、地域の発展に資するように活用するものとする。
- ・地域に存在する自然エネルギーの活用にあたっては、地域ごとの自然条件に合わせた持続性のある活用法に努め、地域内での公平性及び他者への影響に十分配慮するものとする。

(湖南省地域自然エネルギー基本条例(基本理念)より)

【経済的視点】地域自然資源を活用したエネルギー・経済の循環による地域活性化の推進



地域固有の資源である自然エネルギーの活用を通して、エネルギー循環、利益の地域循環、エネルギーの地産地消、市民・事業者の交流を促進し、地域活性化を推進。

【環境的視点】安全に暮らせる強靱で持続可能な脱炭素まちづくりの推進



安全かつ強靱で持続的発展が可能な社会の実現と地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全への貢献をめざす。

【社会的視点】地域資源との関わりを見つめ直し、誰もが参画できるまちづくりの推進



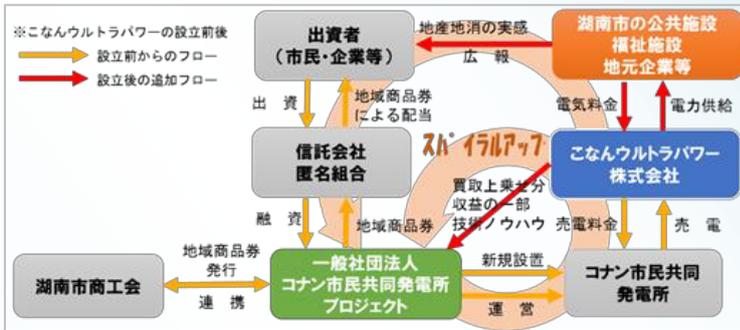
地域資源との関わりを見つめ直すとともに子どもや女性、障がい者など誰もが参画できる自然エネルギーによるまちづくりを推進。

振興方策



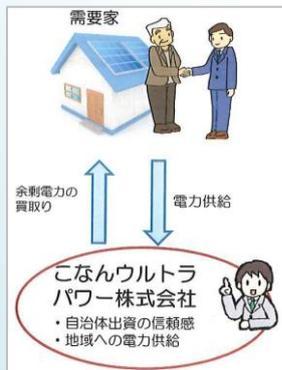
1 小規模分散型市民共同発電プロジェクト

- ・市民共同発電事業の継続
- ・ソーラーシェアリングへの参画
- ・自家消費型の屋根借り太陽光発電への参画



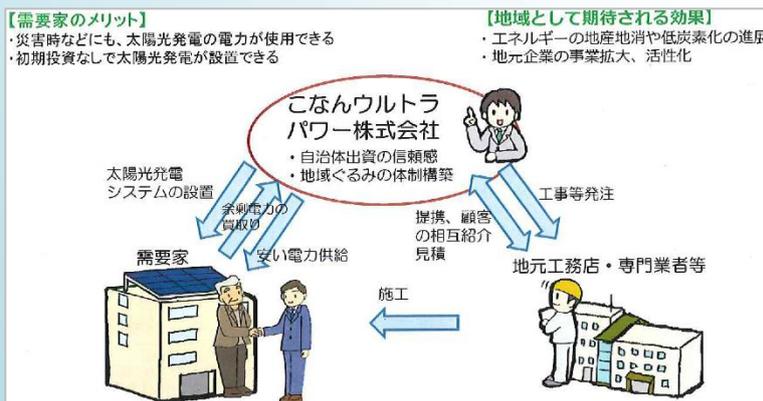
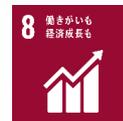
2 家庭用太陽光発電買取プロジェクト

- ・卒FIT 電力の買取
- ・電力の「ふるさと納税」サービス
- ・太陽光発電が未設置である家庭に対する、蓄電池の活用+こなんウルトラパワーによる余剰電力買取を組み合わせたサービス



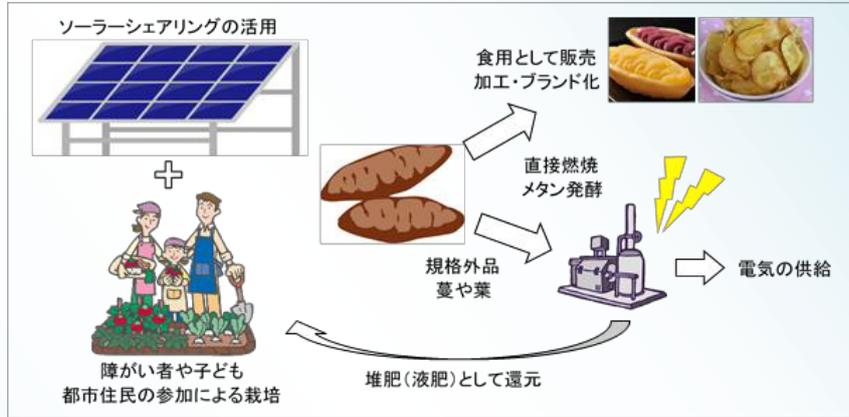
3 自家消費型太陽光発電プロジェクト

- ・電力の需要家である市内の事業者の空きスペースに太陽光発電設備を設置+余剰電力の買取



4 イモ発電・熱利用プロジェクト

- ・既存の取り組みの継続
- ・芋製品の6次産業化への展開の検討
- ・小規模分散型市民共同発電におけるソーラーシェアリングとの連携
- ・地域の事業者や大学と連携し、メタンガスを活用した発電・熱利用に関する検討



5 木質バイオマス活用プロジェクト

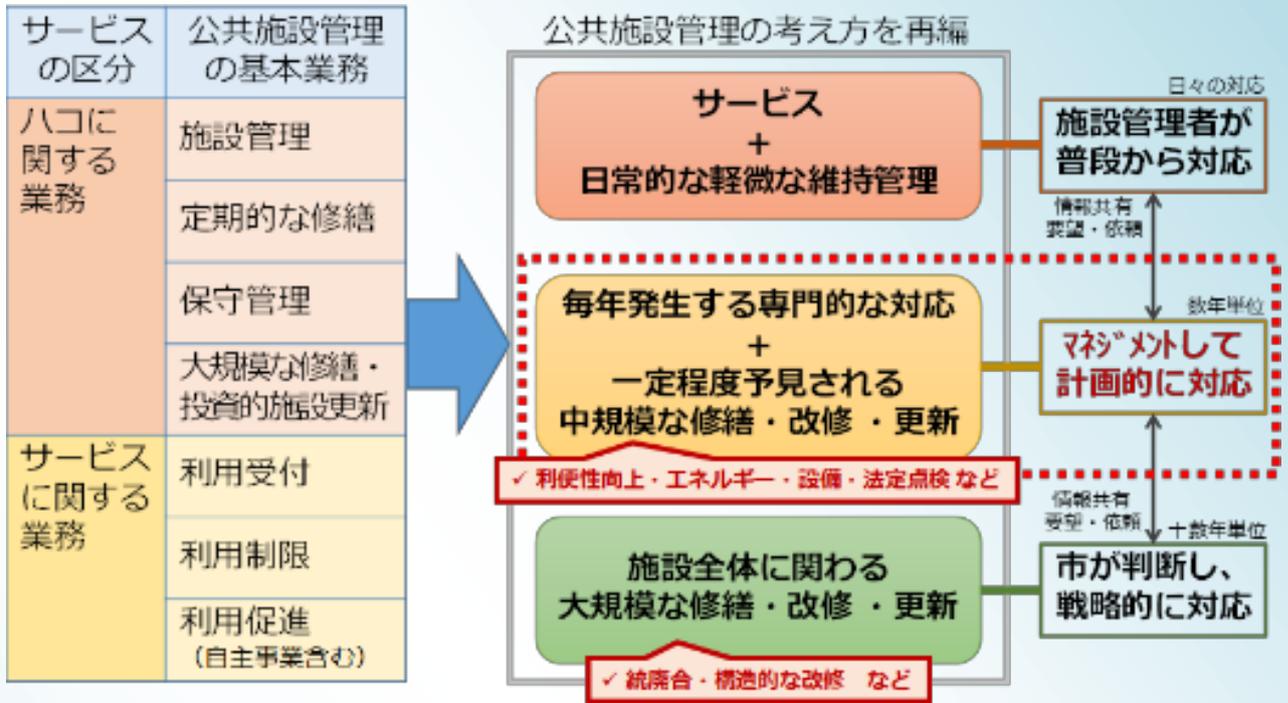
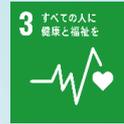
- ・こにゃん木の駅プロジェクト準備委員会と障がい者の連携による燃料の安定供給
- ・供給量に応じた公共施設等への需要設備の導入
- ・こなんウルトラパワーによる熱供給サービスの立ち上げ



	Step1 (~1年) 薪・ペレットストーブでの利用	Step2 (~3年) 薪ボイラーの導入	Step3 (~5年) 地域の福祉施設等への薪ボイラー等の普及	Step4 持続可能な地域経営の確立
川上	<ul style="list-style-type: none"> ■夏見・東寺生産森林組合 ◎地域の森づくりについての継続検討 ◎伐採・搬出の効率化(搬出コストの低減) ◎安全講習 ◎木材のストックヤードの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■夏見・東寺生産森林組合 ◎伐採・搬出の更なる効率化 ◎より価値の高い製材としての利用等の検討 ■その他の生産森林組合 ◎地域の森づくりの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■夏見・東寺生産森林組合 ◎搬出エリア拡大に向けた林道整備 ■その他の生産森林組合 ◎伐採・搬出の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■夏見・東寺生産森林組合 ◎子・孫への継承 ◎持続可能な森林経営 ■その他の生産森林組合 ◎伐採・搬出の更なる効率化
川中	<ul style="list-style-type: none"> ■薪・ペレット供給事業者 ◎市内木材を原料とした薪・ペレット製造(山本材木店・チーム森びと) ■福祉との連携 ◎薪・ペレット製造の低コスト化に向けた試行事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■薪・ペレット供給事業者 ◎安定供給に向けた市外事業者との連携(甲賀木の駅プロジェクト等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域熱エネルギー事業の立ち上げ ◎地域エネルギー供給事業の計画立案 ◎資金調達(ファンド、市民出資) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">こなんウルトラパワーが実施</div>	
川下	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設・福祉施設 ◎薪・ペレットストーブの導入(県補助活用) ■ゆらら十二坊温泉 ◎導入に向けた詳細設計・補助検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設・福祉施設 ◎ストーブの継続利用 ◎新たな需要設備の導入検討 ■ゆらら十二坊温泉 ◎薪ボイラーの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設・福祉施設 ◎薪ボイラーの導入等による需要拡大 	

6 公共施設の脱炭素化プロジェクト

- ・省エネサービス事業の継続
- ・公共サービスを維持しながらコストの縮減と脱炭素化の両立の検討



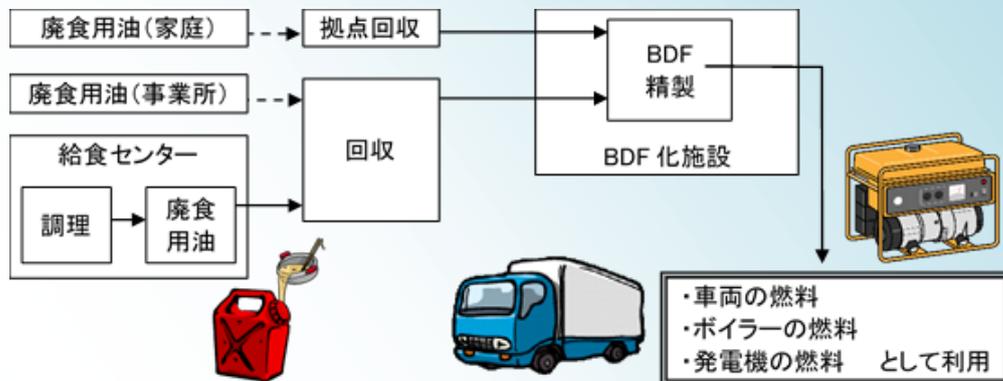
7 地域マイクログリッド構築プロジェクト

- ・マイクログリッド街区の構築の検討
- ・市域全体における「スマートグリッド」を活用した電力の自給自足体制の検討



1 バイオディーゼル燃料の製造・利用

- ・ 湖南省給食センターから発生する廃食用油を、市内事業者が運営する施設でバイオディーゼル燃料（BDF）として精製し、車両・設備の燃料として利用



2 太陽熱利用に向けた検討

- ・ 国や他自治体の動向に注視しつつ、湖南省の福祉施設などで給湯として活用する取り組みの可能性について検討

3 中小規模の風力発電導入に向けた検討

- ・ 中・大型風車に比べ、立地や風況などの条件が緩やかであり、メーカーや代理店も多い小型風力発電について、街灯や非常時の電源確保等、身近な活用について検討

4 災害時に活用できる PHEV・EV の普及啓発

- ・ プラグイン・ハイブリッド自動車や電気自動車等の導入を促進するとともに、非常時における活用を促進するため、普及啓発を実施

	給電方法	電源	給電器	その他	最大出力	備考
①	100V電源用コンセントから給電	100V電源用コンセント			AC100V 0.1～1.5kW	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車本体のみで給電可 ・ 設置・配線工事不要 ・ 出力が比較的小さい ・ EV, PHV, FCV, HV (メーカーオプション等により、100V電源用コンセントを持つ車)が対応可能
②	充電端子から給電	充電端子 (CHAdeMO)	可搬型給電器		AC100/200V 1.5～9kW (給電器による)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可搬型給電器が必要 ・ 可搬型でどこでも給電可 ・ 設置・配線工事不要 ・ EV, PHV, FCV (充電端子 (CHAdeMO)を持つ車)が対応可能
③	充電端子から給電	充電端子 (CHAdeMO)	固定型給電器		AC100/200V 3～9kW (給電器による)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定型給電器が必要 ・ 建物への直接給電可 ・ 設置・配線工事必要 ・ EV, PHV, FCV (充電端子 (CHAdeMO)を持つ車)が対応可能

戦略プランの実現に向けて

【推進体制】



市民の役割

- 本戦略プランに対する理解、実践
- イベントや講座等への積極的な参加、協力

事業者の役割

- 取り組みの積極的な実施・協力、脱炭素社会の実現と地域の活性化への貢献
- 必要な情報の収集、自らの取り組みの発信
- 製品開発、技術開発

湖南省（行政）の役割

- 取り組みの実践、各主体が取り組みやすい環境づくり
- 人材育成の積極的な推進、産学民金の様々な連携のコーディネート
- 国や県の制度等の情報収集・提供、地域が主体となった活動を促進

こなんウルトラパワー（地域新電力）の役割

- 地域資源を活用したエネルギー供給の推進
- エネルギー資金の流出を最小限にとどめることを主眼とした事業展開
- 取り組みを拡大するようなサービスの実施

大学（教育・研究機関）の役割

- 大学等の研究機関の持つノウハウの活用
- 市民や事業所との連携等を通じた、豊富な知識・知恵の地域還元

銀行（金融機関）の役割

- 資金調達、円滑な資金供給を通じた地域活性化への貢献
- 金融機関の持つネットワークの活用

【実現化プログラム】

プランに位置付けた各プロジェクトについて、実現化プログラムに基づき、取り組んでいきます。
また、エネルギーを取り巻く状況は目まぐるしく変化していることから、国のエネルギー政策や制度の変更等に柔軟に対応し、毎年の進捗状況を踏まえ、適宜見直しを行いながら、PDCA サイクルにより進行管理を行います。

湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン【概要版】

令和2年3月

湖南省 総合政策部 地域創生推進課 地域エネルギー室
住所：〒520-3288 滋賀県湖南省中央一丁目1番地
電話：0748-71-2302 / FAX：0748-72-2000